

ヨーロッパ圏旅行者の 日本の医療に対する不安要因

広島国際大学看護学部看護学科

氏名：藤永 洋輔

指導教員：西川 まり子准教授

1. はじめに

- × 訪日外国：特にヨーロッパ圏の伸び率70.7%で、最も増加。
- × 言葉の心配：特に医療について。
- × 研究目的：日本の医療の国際化に向けてヨーロッパ圏の人々の医療に対しての具体的な不安を明らかにする。

II. 研究方法 1

- × 調査対象：某宿泊施設に宿泊した未成年を除いたヨーロッパ圏訪日外国人。
- × 対象国籍：イギリス, フランス, ドイツ, イタリア, スペイン, オランダ, スウェーデン, スイス, フィンランド, ベルギー, デンマーク, オーストリア, アイルランド, ポルトガル, ノルウェー。
- × 調査期間：2013年8月1日～2013年10月18日。
- × 調査方法：英語版 Mari Meter を用いて訪問外国人が日本の医療を受診や入院する際の不安要因の15項目を挙げた(表1)。

II. 研究方法 2

- × 調査内容：
 - 表 1 参照.
 - 表 2 の項目をNot at all concerned(1点), Not very concerned(2点), Neutral(3点), Somewhat concerned(4点), Very concerned(5点)の5段階で評価.
 - 心配・不安は自由記載.
- × 倫理的配慮：無記名.
本学倫理審査承諾後実施.
- × 分析方法：自由記述の文章はText Mining Studio 4.2英語版で分析.

III. 結果

表1 調査対象者の属性

n=36

回答者の国籍	人数	(%)	平均
ドイツ	10	27.7	
イギリス	4	11.0	
フィンランド	4	11.0	
オーストリア	3	8.3	
スウェーデン	3	8.3	
フランス	3	8.3	
アイルランド	2	8.3	
オランダ	2	8.3	
スイス	2	8.3	
スペイン	2	8.3	
イタリア	1	2.7	
性別			
男性	20	55.5	
女性	16	44.4	
滞在日数(日)			26.5
海外保険加入者数	36	100.0	
初めて来日した旅行者数	24	66.6	
情報を事前に収集した旅行者数	9	25.0	

外国人旅行者の医療に対する不安（高い）

表2参照

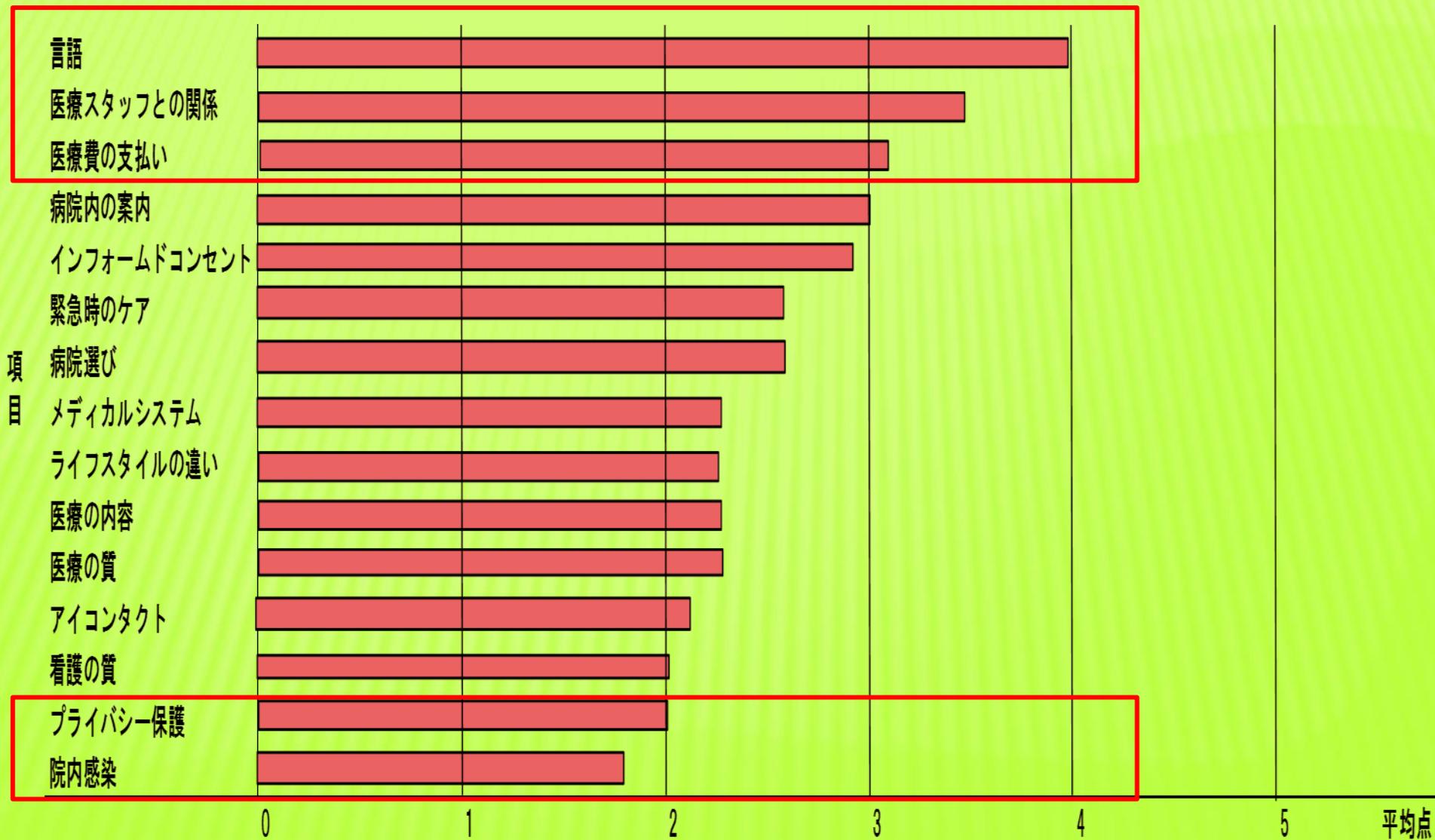
- × 言語・医療スタッフとの関係が高い事が明らかとなり、コミュニケーションについて心配する人が最も多い結果であった。
- × 不安の高い順に言語・医療スタッフとの関係・医療費の支払い。
- × 言語は平均3.9点、医療スタッフとの関係は平均3.4点であった。医療費の支払いでは平均3.1点であった。

外国人旅行者の医療に対する不安（低い）

表2参照

- × 日本の医療の水準に対して心配する人が最も少ない結果であった。
- × 低い順に院内感染・プライバシー保護であった。
- × 院内感染は平均1.8点， プライバシー保護は平均2点であった。

表2 日本の医療の不安要因：Mari Meterによる結果



平均点

Text Mining Studio による自由記述の分析 1

- × 36名全員が回答.
- × 延べ単語数は964単語.
- × 総文数は72文.
- × 1文の平均の長さでは51文字.
- × 総文字数は4642文字.
- × 単語頻度解析の結果：多い単語の上位5位は fear, have, Japan, medical, communication (図1).

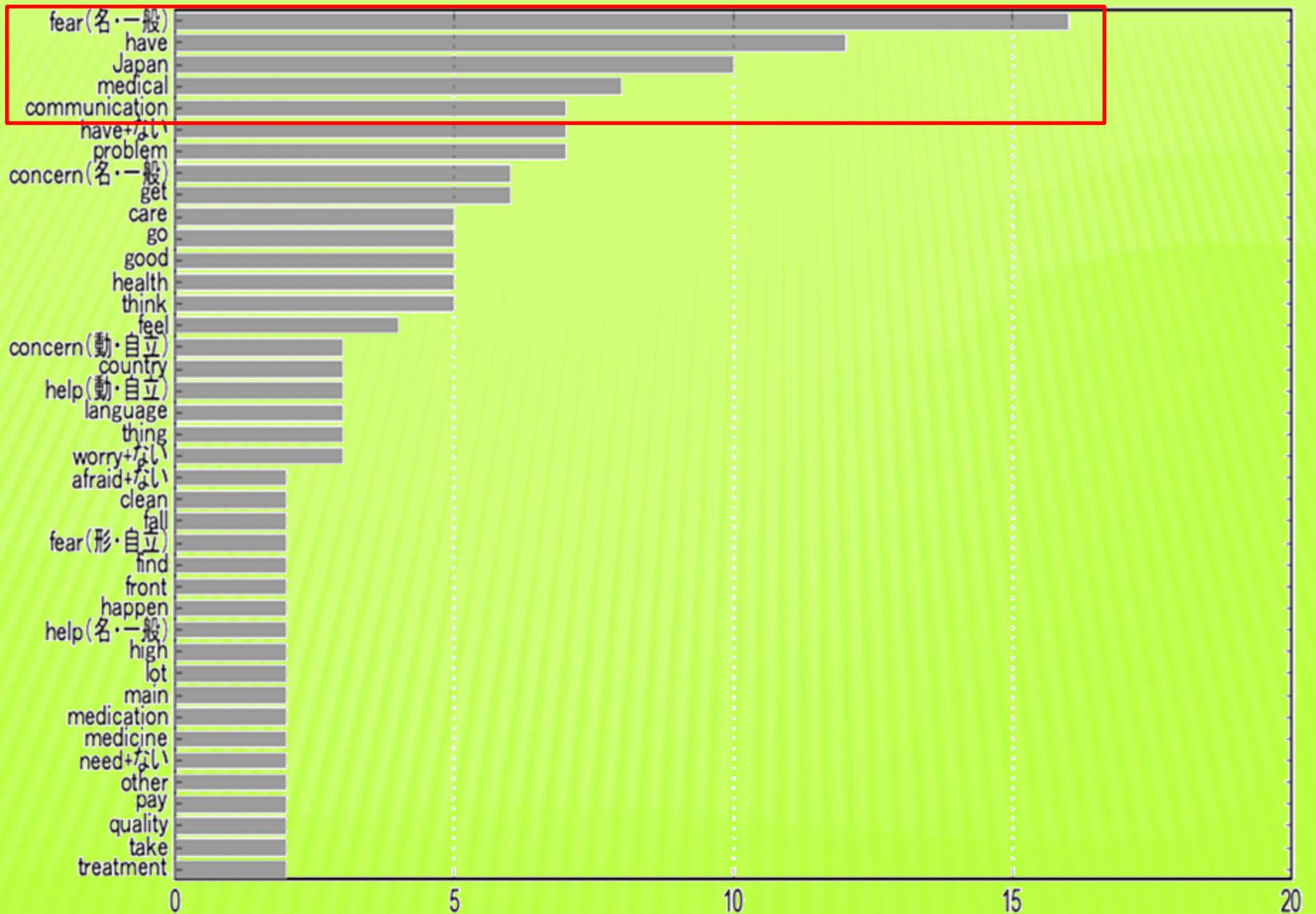
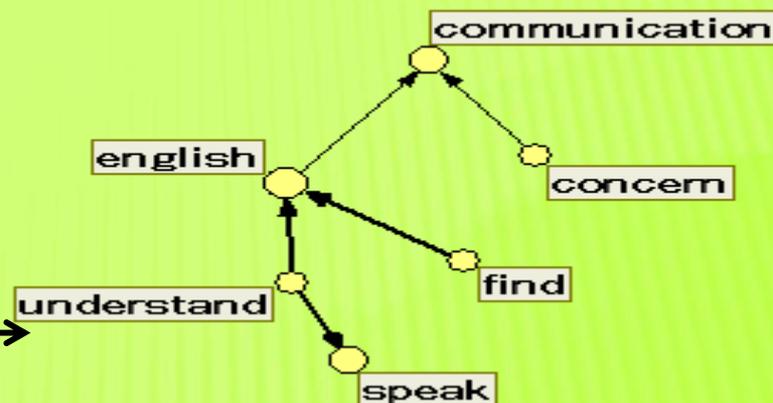


図1 単語頻度解析

Text Mining Studio による自由記述の分析 2

- × Communicationとspeakやunderstandが関連：主に言語の不安が関連している(図2).



- × Payとfront, services, medical, insuranceが関連：医療費や保険制度に対して不安を感じている(図2).

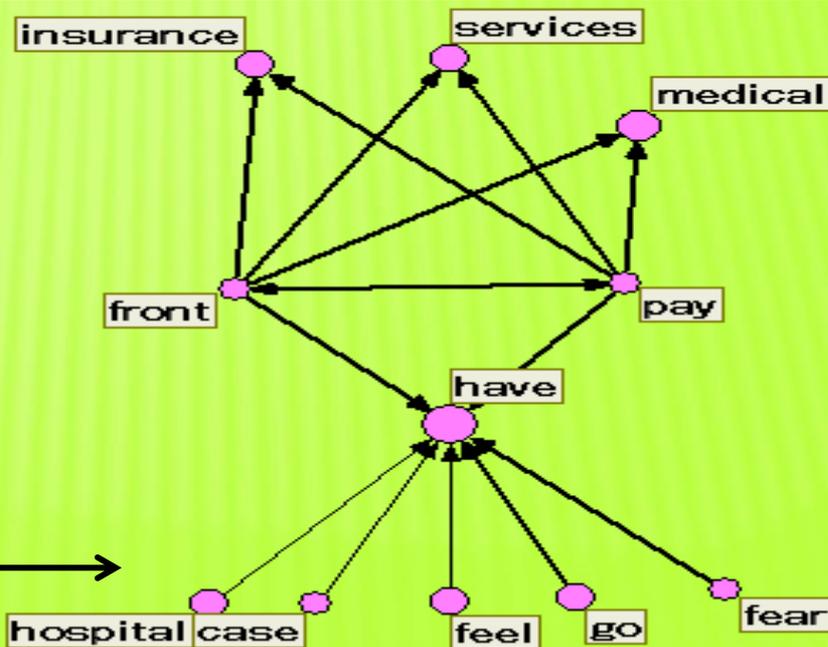


図2 言葉ネットワーク：日本の医療の不安 10

Text Mining Studio による自由記述の分析 3

- × 図3では日本の医療に対して不安がないという要因を明確にした。
 - + Japanとsafe, clean, system, good, help, worry+ないが関連。
 - + 日本の医療,医療システム：**安全, 清潔, 良いイメージ**である。

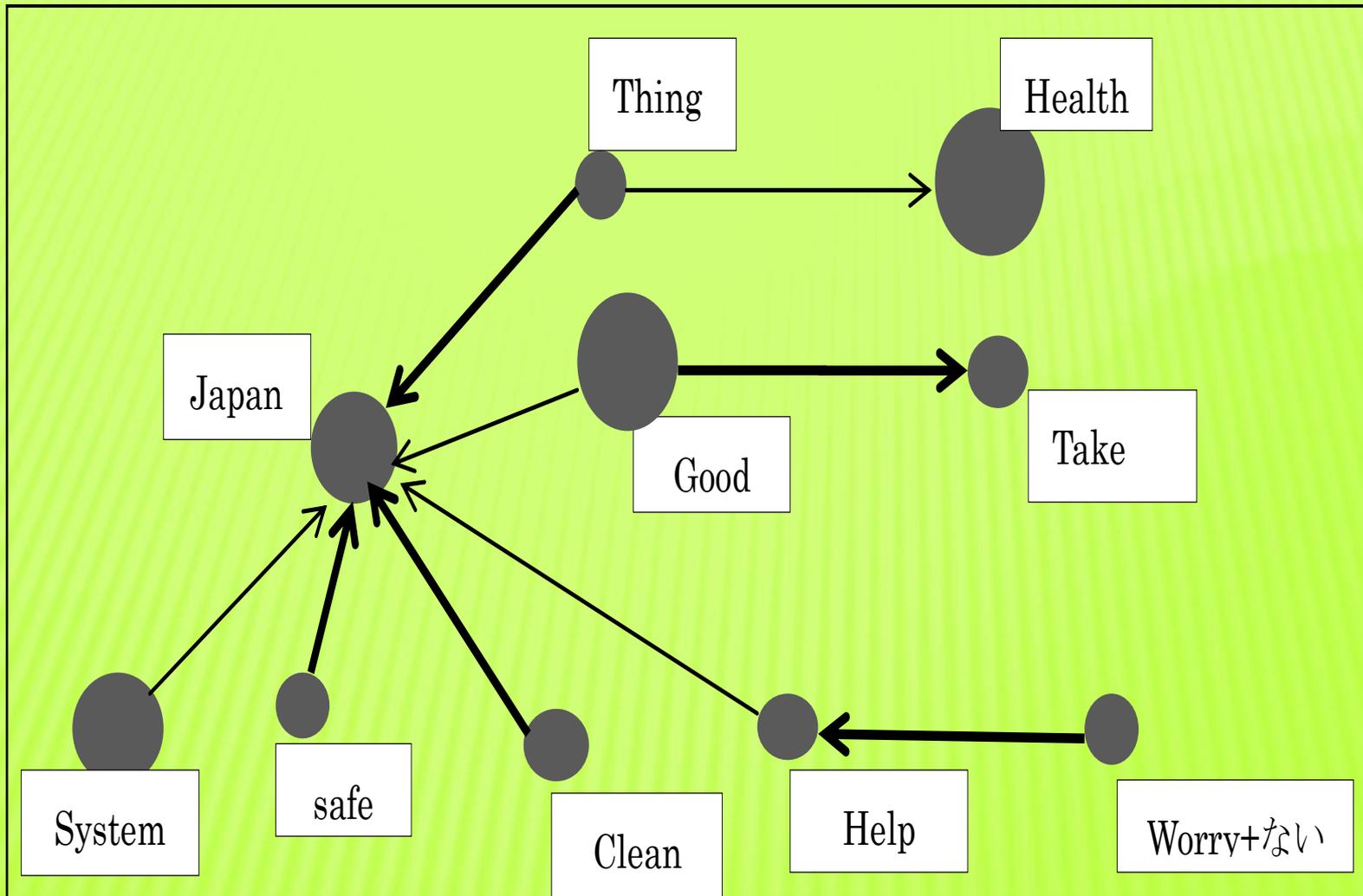


図3 言葉ネットワーク

自由記述の記載

- × 7人(19.4%)が第二外国語の英語が通じるか不安と記載.
- × 6人(16.6%)が日本の医療者が英語を話せるか不安と記載.
- × **第二外国語を用いて医療施設へ受診することが不安であることが明らかとなった.**

IV. 考察

- × ヨーロッパ圏からの訪日外国人は**第二外国語を用いて医療施設を受診することに不安**：医療用語は専門的である。
- × 日本人の医療者の英語を心配している。
- × ヨーロッパ圏外国人旅行者の増加傾向：医療者との**コミュニケーション**や、**医療費の支払い**に対して**不安を感じる人が増加する**と考えられる。

× 日本の医療水準：**安全，清潔である。**
日本人の気質について親切，人に温かい，仕事に対してプロ意識がある。結果**心配は少ない**と予測。

× ビジット・ジャパン・キャンペーンで取り組まれている，**安全で親切や便利**
という日本のイメージをさらに浸透・医療の情報を事前に知ってもらうことで不安がより軽減されると予測。

V. 結論

- × **不安要因：言語，医療者との関係，医療費の支払い。**
- × **日本の医療の国際化に向けて：医療者の語学力向上，多言語による問診票，通訳者の普及など多言語による対応の準備，日本の医療の情報を容易に知ることができる環境作り，外国人旅行者を受け入れる準備を行っていく必要がある。**